

(別紙) 作成日 令和 6年 3月25日

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2071800235		
法人名	有限会社アットイーズ		
事業所名	あつといーずホーム		
所在地	長野県千曲市磯部170-2		
自己評価作成日	令和 6年 3月 1日	評価結果市町村受理日	令和 6年 4月 25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaizokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhou_detail_kani=true&JigyosyoCd=2071800235-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング株式会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 6年 3月 18日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

接遇は勿論のこと、ご家族、主治医を中心とした連携の徹底をしています。日々の体調変化に気づけるよう、こまめにバイタル測定、水分量、排泄のチェックを行い、変化が見られた場合主治医に連絡をして、ご家族の了承のもと専門医を受診をしています。行事も毎月季節に合わせた行事を取り入れ、お花見やお食事に出かける事も利用者様には好評となっております。行事の際の表情や雰囲気写真を撮り、コメントと共にご家族に毎月送っています。ふれあい祭りは地域の方にも施設にお越しいただけるよう、チラシや回覧板を活用して地域の方向けの行事も行ってまいります。小さなお子さんも来ていただき、民生委員の方や区長さんより恒例行事として続けていただきたいと思います(新型コロナウイルス感染症の影響で3年間実施できず)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

近くにしの鉄道が走り、周りには住宅が点在する静かな環境の中に開設から19年を迎えた当ホームがある。90歳以上の利用者が10名と半数以上を占めるという状況下、職員間で話し合っ決めて「笑顔、感謝、地域、尊厳、心」という法人理念を十理解し、利用者の想いを受け止めて、日々の支援に取り組んでいる。コロナ禍の状況が長引き、制約を受けながらの活動が続いて来たが、昨年5月のコロナ5類への移行を受け、感染対策を取りながら少しずつコロナ前の生活に戻す活動を始めている。そうした中、最も力を入れていることは「夢活動」と題して、利用者が家に居て普通にやっていた「洗濯、掃除、調理」等の力量を見極め、午前中1回、午後1回1日2回、何らかのお手伝いに参加している。1回参加する毎にポイントが加算され、50ポイント溜まると「社長とドライブ外出」、100ポイントで「ハンカチセット」、300ポイントで「マグカップ」等のプレゼントが送られ楽しめながらお手伝いに参加することで「メリハリ」のある生活を送れるようにしている。また、家族の面会についてはコロナ蔓延中は自粛していた時もあったが、現在は事前に予約をいただいた上で、人数は2名までとし会議室において30分間を目安に対面で行っている。多く見られる家族は週1回ほど来訪し利用者と歓談している。そのような中、家族との関わりを大切にコロナ前には敬老会に合わせて家族会を実施していたが、コロナ禍で中止の状況が続いており、来年度は感染対策を取った上で敬老会に合わせて家族会を再開したいという意向である。更に、夏には「ふれあい祭り」をホーム前の駐車場で開催する予定をしており、家族にも案内したいとしている。ホールに伺い「今日は」と挨拶をする、とこやかな笑みを浮かべ「今日は」と利用者から挨拶を返していただき、合わせて、テキパキと優しく接する職員の姿も見ることができて、利用者との良好な関係を窺うことができた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい ○ 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		○ 1. ほぼ全ての家族と ○ 2. 家族の2/3くらい ○ 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない